

県南保健所感染症情報

令和7年 第 30 週

令和7年7月21日 ～ 令和7年7月27日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ （定点当たり患者数）

定 点	疾 病 名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 30 週						警報レベル		注 意 報 レ ベル
		28 週		29 週		30 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
	インフルエンザ定点	0.00		1.20		0.00		0.32		0.71		0.00		30	10	10
	COVID-19	4.00		4.80		6.40		4.12		4.25		6.40				
	急性呼吸器感染症 (ARI)	30.40		27.40		18.40		48.20		48.75		18.40				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	0.00		0.00		0.00		0.53		0.26		0.00				
	咽頭結膜熱	0.33		0.00		0.33		0.45		0.32		0.33		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19.33	警報	15.67	警報	6.33	警報	1.60		1.65		6.33	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	0.00		0.00		1.00		4.19		2.39		1.00		20	12	
	水痘	0.33		0.33		0.00		0.34		0.10		0.00		2	1	1
	手足口病	0.67		0.00		0.00		0.59		0.32		0.00		5	2	
	伝染性紅斑 (リング病)	0.00		0.00		0.00		1.88	警報	1.26		0.00		2	1	
	突発性発しん	0.00		0.00		0.00		0.33		0.39		0.00				
	ヘルパンギーナ	5.33		1.67		1.00		1.63		1.23		1.00		6	2	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.33		0.00		0.00		0.05		0.06		0.00		6	2	3
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	4.00	警報	1.00	警報	0.00		0.01		0.00		0.00		1	0.1	
	流行性角結膜炎	7.00	警報	5.00	警報	2.00		0.83		1.13		2.00		8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.07		0.08		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	1.00		0.00		0.00		0.83		0.42		0.00				
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスであるものに限る)	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇ ※報告日掲載（県作成速報・診断日掲載）

一類感染症	報告なし
二類感染症	【第30週】 結核 患者2名（20代・女性1名、60代・男性1名）
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第30週】 百日咳 患者3名（10歳未満・男性2名、50代・女性1名）

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆8月4日は、麻しん（はしか）予防の日です。

麻しん（はしか）は、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で発熱、全身の発しん、また、咳、鼻水、目の充血などが主な症状です。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。

感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しん含有ワクチンが最も有効な予防法といえます。麻しんの患者さんに接触した場合、72時間以内に麻しん含有ワクチンの接種をすることで、麻しんの発症を予防できる可能性があります。

また、定期接種の対象者だけではなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合やご自身の免疫が不十分なことが判明した方は、麻しん含有ワクチンの接種を検討してください。麻しん含有ワクチン（主に接種されているのは、麻しん風しん混合ワクチン）を接種することによって、95%程度の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができるとされています。また、2回の接種を受けることで1回の接種では麻しんへの抗体が十分に産生されなかった方の多くに免疫をつけることができます。